

日 刊

# 新東京

NO. 4539

2008年  
6月2日(月)

日本郵政グループ  
労働組合  
JPU新東京支部  
編集委員会

03-5690-2847  
内線 4163

## 伊豆熱川送別旅行

深夜勤から開放されて5kg太った

五月二十五日、朝から雨の空模様。旅行の初日から雨とはついてない。

今回の旅行は、三月に勸奨退職したTさんの慰労送別会と「温泉卓球」を兼ねて開催。

東京駅9番ホームに7名の仲間が集結。熱川温泉に向けて踊り子号が出発した。



熱川温泉といえは、「熱川バナナワニ

東京駅を出るときに降っていた雨も、私達の日頃の行いが良いせいにか、目的地の熱川温泉に着く頃には晴れ間も覗いてきた。車窓からは、みかんの木や紫陽花が私達を歓迎している。

園！熱帯植物やバナナの木などを観賞しながらノンビリと散策。なかでも、熱帯の蓮が見事に花開き、皆で合掌！？ワニ達は何故か重なり合って昼寝の最中。レッサーパンダも木の枝に掴まって、これまた昼寝を貪っている。本当にまつたりとした世界が広がっている。心癒されるひとときでした。宿に着き、浴衣に着替えて「温泉卓球大会」を開始。「ピンポン」になる人、本格的卓球？で勝負する人、仕事でかく汗とは違った心地よい汗をかいた後、海の見える露天風呂に直行。大島がくつきりと見え

ました。

仕事で疲れきった身体を癒すことが出来た。

風呂で汗をかき、喉の渴きも最高潮に達し、いざ宴会場へ。

『風呂上がりのビールは最高く!』の一言に尽きる。

宴会で盛り上がった勢いでカラオケに場所替え。

Tさんの甘い歌声に久々しびれました。

さて、何故二年後の退職を前に勸奨退職したのかが話題になった。

Tさん曰く。『深夜勤になつてから暫くして退職を考えるようになった。以前の16勤や新夜勤は仮眠時間があつたし明けて勤務から解放された。楽とはいえな



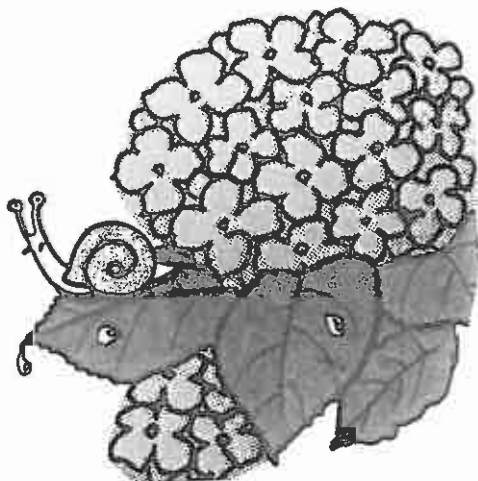
いが、深夜勤よりマシだった。退職後はノンビリとマイペースで生活している。その内、昼間帯のゆうメイトで働きたいと考えている。今は、ボロボロになつた身体をオーバーホールし

ている。おかげで、体重が4〜5kg増えた』と近況を語つてくれた。

以前より顔もふつくらして顔色も良くなつていた。

深夜勤が大変だからと言って、皆が退職するということ状況にはないが、今更ながら、この現実を直視しなければならぬと思つた。

Tさんがゆうメイトで戻つてくる日を待つています。



日 刊  
**新東京**

No. 4541

2008年  
6月4日(木)

日本郵政グループ  
労働組合  
JPU新東京支部  
編集委員会

03-5690-2847  
内線 4163

「かんやうぶん」

## 中国人が撮った『靖国神社』

新東京小學校 JPU 綴 「描舌」

過日、一部勢力の妨害を恐れて上映が見送られてしまい、有志の懸命な努力が実って、ミニシアターながらも上映が成った、中国人監督、李纓（リー・イン）氏のドキュメンタリー映画『靖国 YASUKUNI』を鑑賞しました。

筆者は、正直「映画が封印されたから騒がれただけで、大した映画ではないだろう」

と違って鑑賞した（タイトルはその名残です。小学生の作文風に上映中止を皮肉ろうと思っていました）のですが、なかなかの力作でした。この映画は2005年、終戦60年記念時の靖国神社内の映像を中心に、靖国存続派（小泉元首相や石原都知事、東條英機大将の孫・由布子さんも登場しています）・反対派両者の

模様を公平に配分し、靖国神社の現在の姿を伝えるという日本人では、どうしても感情的になって左右どちらかのイデオロギーに偏ってしまう題材を上手く映画にしてみました。昨年のリサ・モリモト氏の『TOKKO（特攻）』もそうですが、これからは特攻や靖国など、日本特有の戦争事象は第三者（他国籍人）に提示してもらい、日本人はそれを元に議論すればいいのでは？ と考えてしまう程、上質なドキュメンタリー映画でした。（註：とはいっても、この映画を使って、靖国神社の存在を他国に承認させる程の力はない。それは監督の力量のせいではなく、日本人自身

の靖国を巡る発言に何ら理論性（宗教性）を見出せなかったため。これは今後の日本人の課題だと思う）

鑑賞後、この映画が封印されようとした原因は大方察しはつきました（言わなくともわかりますよね？）が、監督の国籍関係なく、このように真摯に制作した映画を公開前から非難したり封印させようとするのは、日本もC国の自治区弾圧を非難できない国情になりつつあると危惧すべきだと思いました。その危機感を真摯に受け止め、上映に尽力した方々には御礼の二文字あるのみです。

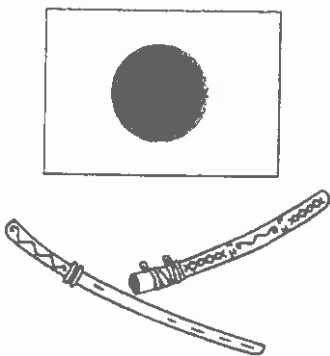
さて、筆者が何故この映画の鑑賞をしたか、というと『靖

国刀』といわれる日本刀の存在を追っている事です。映画では、ただ一人残る靖国刀の刀匠、刈谷直治（なおじ）氏に密着しています。『靖国刀』とは、昭和8年に靖国神社内に開設された日本刀鍛錬所で製作された日本刀だそうです

（映画では「御神体」と説明があるが、いわゆる作刀の『靖国派』を立ち上げたのが正式なところです）。靖国神社内に日本刀鍛錬所を開設した昭和8年前後、日本陸軍は国粹主義が高じてサーベル式だった軍刀を日本刀式に改悪（何故「改悪」なのかは、鈴木眞哉『刀と首取り』をお読み下さい）し、世界に与えた（悪）影響の経緯を考えると、この

点は、やはり日本刀片手に国内に押し込まれた中国国民ならではの視点だな、と感心しました。ただ、刈谷氏の御年88歳（撮影当時）、監督はカタコトの日本語のため、コミユニケーションが不足ぎみだったのが残念でしたが。

映画『靖国 YASUKUNI』は、現在も渋谷シネ・アミューズ（当分の間）、及びシネカノン有楽町一丁目（レイトショー、6月6日まで）で公開中です。



日 刊

# 新東京

NO. 4543

2008年  
6月6日(金)

日本郵政グループ  
労働組合  
JPU新東京支部  
編集委員会

03-5690-2847  
内線 4163

## 『たけちゃんマンの 定年漂流』を読んで

私の先輩であり、永らく私たちに組合指導して下さった竹林清さんが、表題の本を自費出版した。

私は感慨深く読ませていただいた。

筆者本人は、六十才の時『たけちゃんマンの半生記』、『感想あれこれ』に引き続き三冊目の出版である。

『く定年漂流』の題が示す

ように、自分自身が定年後どういう風に人生を楽しんでいこうかという視点でボランティア(団地の管理組合理事長)、絵画、映画、舞台などの鑑賞・観劇、そして家族・夫婦のふれあい、社会的事象に対する問題意識など様々なジャンルにわたり書かれている。とても、私などは足下にはおよばないと感じた次第であ

る。また、親類、先輩、友人などのつきあいも、とても良い距離感で書かれています。

とりわけ今回は「中央労働委員」として関わってきた労働・社会の見方、見識に深く感銘を受けた。

私が青年部時代に指導を受けたことが思い起こされた。文章自体押しつけがましくなく淡々と書かれているのがとても良い。

「ブログ」を始め日々の思いを書き留めているのも几帳面な竹林さんらしい。

本書をいただき、読み、自分自身の定年準備を考えてみるいい機会になった。(S)



# 支部結成以来の快挙！ 三年連続の純増

新東京支部では、2008春季生活闘争の柱である賃金引き上げをはじめとする諸要求獲得にむけて中央交渉をバックアップしたいとの決意から、3月期を組織拡大集中月間と位置付けてきました。

地本主催「2008春季生活闘争総決起集会」における決起表明、二特分会などの牽引的なとりくみ等によって、23名の新規加入者を獲得することができました。

東京地本の「組織拡大集中オルグ期間」(4月16日～25日)のとりくみにおいては、二普分会をはじめとする各分会の努力によって27名の新規加入者を獲得し東京全体で第一位の実績を挙げる事ができました。



さまざまな努力があり一昨年4月の729名から14ヶ月連続純増をかさね6月1日現在の組織人員は805名(パートナー組合員は231名)に到達しました。



また、2005年度から3年間純増を続けています。

全国や東京の仲間も6月18～20日全国大会に向けて一丸となって組織拡大行動に邁進していきます。

私たち新東京支部も全国の先頭に立って札幌全国大会成功に向けて頑張りましょう。

日 <b>新東京</b> 刊	NO. 4544	2008年6月9日(月)
	日本郵政グループ労働組合 JPU新東京支部 編集委員会	
	03-5690-2847	内線 4163

## 平成20年度 夏期一時金を整理

# 2. 15月+15,000円を確認

# 月給制契約社員昨年実績3,000円増

# ---支給日6月30日準備出来次第---

### 中央交渉情報 第31号(2008/06/06付)

本日、郵政グループ各社(郵便事業会社、郵便局会社、ゆうちょ銀行、かんぽ生命、持株会社)から夏期一時金について、2008 春季生活闘争において妥結した内容に基づき「2. 15月+15,000円(正社員等)、6月30日(月)以降、準備でき次第支給する」との正式提案がなされ、整理を図りましたので周知します。

一時金については、2008 春季生活闘争において正社員は「年間4.40月+15,000円+ $\alpha$ 」、「夏期2.15月+15,000円」「年末2.25月+ $\alpha$ (上半期の経営状況を踏まえ再交渉)」とすることで妥結してきたものです。

しかし、月給制契約社員の加算措置について、経営側は「月給制についてはベア400円を実施することから、一時金の加算措置については月給制の賃金モデルとしたキャリアスタッフと同水準の6,000円としたい」とし、JP労組の「月給制は、あくまで新たな社員区分であり、求められるスキル等もより正社員に近く、水準を引き上げるべき」との主張と対立し、期限ギリギリまで交渉を重ねてきました。

6月30日支給のために必要な期間ギリギリとなった本日、キャリアスタッフの水準であった6,000円に3,000円の上積みを図り「9,000円」とすることで最終整理を図りました。

## 【夏期手当内訳】

### 一般社員

((基本給+扶養手当+調整手当+職務段階別等加算)×支給月数)+加算措置  
 <支給月数+加算措置>

- ・ 在職期間6月 2.15 月+15,000円
- ・ 在職期間3月以上6月未満 1.29 月+ 9,000円
- ・ 在職期間3月未満 0.645月+ 4,500円

### 高齢再雇用社員

((基本給+扶養手当+調整手当+職務段階別等加算)×支給月数)+加算措置  
 <支給月数+加算措置>

- ・ 在職期間6月 1.1 月+15,000円
- ・ 在職期間3月以上6月未満 0.66月+ 9,000円
- ・ 在職期間3月未満 0.33月+ 4,500円

※短時間勤務社員の加算措置は、2分の1です。

### 期間雇用社員

#### (2)月給制契約社員

(基本賃金額×0.3×1.5)+9,000円

#### (3)時給制契約社員(パートタイマー)

基本賃金の合計額÷6×0.3×基準日前6か月の実際勤務日数に応じた割合

120日以上	: 1.3
100日以上	: 1.2
80日以上	: 1.1
80日未満	: 1.0

ただし、実際勤務日数が120日以上の時給制契約社員等のうち、全期間において1日の平均勤務時間日数が8時間である者については、  
 基本賃金の合計額÷6×0.3×1.5

さらに、夏期手当前6か月間において正規の勤務時間数を6で除した時間数に応じて次に定める額を加算。

Aランク	84時間超	6,000円
Aランク	84時間以内	3,000円
Bランク	84時間超	3,000円
Bランク	84時間以内	1,500円



日 刊  
**新東京**

NO, 4545

2008年  
6月10日(火)

日本郵政グループ  
労働組合  
JPU新東京支部  
編集委員会

03-5690-2847  
内線 4163

# 郵便局のトイレは

## なごせ直らない

これは、トイレの話です。

最近、職場のトイレにこんな張り紙がしてあるのを目にしたことがある。『故障中のため使用禁止』：『修理依頼ズミ』なるものである。

洗面所についても同様である。壊れていて使えないのはわかっていたにしても、かなり長い

あいだ故障のまま、張り紙自身も判読不能になっているものもある。

ある人が設備の点検をしたところ：郵便棟二階の男子トイレだけでも便器「大」4カ所・「小」1カ所、洗面台3カ所が使用不能のままとなっているという。

24時間稼働している眠らない新東京なのだから、あら

ゆる設備も通常の2倍以上酷使しているのではないかと。ものが壊れるのは仕方がないし、20年近く経つのでから経年劣化もあるのだろう。

それにしても、8月から『使用禁止』になっているものもある。早く直してもらいたいものだ。

洋式の便座が使えないと、腰痛者が多発しているこの職場では、かなり腰への負担が大きい。短い休憩時間でも遠くにある休憩室まで歩いていき、手を洗うのもならば、イライラがつのる。

修理業者に『依頼』しているにもかかわらず直しに来ないのであれば業者の怠慢だが、



「JOSのすばらしいカンパ  
ンは、作つてすぐ壊している。  
金を惜しまない。早く直せ。」  
「便所も直さないで、トクタ  
方式にいくら使つてんだ。」故  
障していた国際宇宙ステーシ  
ョンのトイレだつてスペース  
シャトルに修理部品を積んで  
行き、直したじゃないか。」と  
の声が聞こえてくる。  
「便所も直せない」と言わ  
れる前に、みんなが働きやす  
く、やりがいのもてる職場環  
境整備をしてもらいたいもの  
である。



## 『北京オリンピック』への挑戦?

今、ニュースで話題になっているスピード社の水着『レーザー・レーサー』水をはじき、身体の線をより直線的に（締め付け）見せ、水の抵抗を無くす。

6月6日～8日、辰己で行われた「ジャパンオープン（競泳）」で、日本の有力選手が国内の水着を着て予選、決勝は、『レーザー・レーサー』を着て挑んだ結果、なんと『レーザー・レーサー』を着た選手が、**世界記録1、日本記録15**と記録ラッシュであった。日本水泳連盟は、本日（10日）、スピード社の『レーザー・レーサー』か、国内の水着かを決めて、【北京オリンピック】に望むそうです。

ドイツでは、スピード社の『レーザー・レーサー』を使用せず、国内のメーカーで挑むそうですが、各国の思いは、いろいろあるにしても4年に1度のオリンピック、わたしは、オリンピックだけでもみんなが同じ水着で競い合っても、と思います。

日 刊

# 新東京

NO 4546

2008年  
6月11日(水)

日本郵政グループ  
労働組合  
JPU新東京支部  
編集委員会

03-5690-2847  
内線 4163

## ビルマ・サイクロン 中国四川省大地震 救援カンパについて

ビルマのサイクロン災害および中国四川省大地震災害における災害規模は、両災害とも10万人以上の被災者を出し、災害復興の長期化が予想される状況となっており、連合は、国際連帯と人道主義のもと、被災者救援のための「特別力

ンパ」の実施を決定いたしました。連合の構成組織であるJP労組としても積極的に取り組むこととし、中央本部より特別カンパの要請がされたことから、東京地本として下記の要領で取り組むこととしますの

で、各支部の対応を要請します。

なお、連合は、すでに両災害の見舞金として「連合・愛のカンパ」から一〇〇万円相当額をビルマ労働組合連盟と中華全国総工会へ拠出しているところですので、ご了承願います。

また、今回日本郵政グループにおいても同様の義援活動をおこなうこととしていますが、組合員の負担とならないよう ①個人の意思でおこなうこと、②強制的にならないこと、等を中央本部段階で確認しています。

組合員に対しては、「どちら

---

---

でカンパをおこなっても組合員の善意によるカンパでありませんが、JP労組の取り組みによるカンパ金は、ビルマ・中国で被災された労働者に対する義援金でもあることの趣旨、あいを汲み取っていただき、組合としての取り組みに協力願いたい」等、カンパ活動への賛同を呼びかけて下さい。

具体的取り組みにあたっては、日常的な組合員への要請はもとより、支部再編に伴う「感謝のつどい」や「支部結成レセプション」等、あらゆる機会での取り組みをお願いします。

期間 六月四日～八月三十一日

---

## 春期生活闘争の総括と課題（中央本部）

- ① 3月13日に妥結整理し、5月19日に総括し闘争体制を解除した。今後は、配分交渉に全力を傾注・対応をはかることとしている。
  - ② 民営化後初めての春季生活闘争であり、民間企業としての賃金闘争等を初めて行った。JP 労組として、地方独自で風船等を作成する等、意識の醸成や浸透がはかられた。
  - ③ 厳しい経営状況等においてベアを獲得したことや、月給制契約社員の処遇を改善したとともに、社員（正規・非正規）の採用枠を4061人から13261人に拡大できたこと。非正規社員から正規社員への登用を具体化させた。
  - ④ 割増率の改善等とともに、フロントラインの要員状況の改善など継続項目がまだ残っている。
  - ◎ 大きな課題は、30万人組織達成に向け、全組織が一丸となった組織拡大行動し、具体的な成果を残すことにある。
- 
-

日 刊	<b>新東京</b>	NO.4547	2008年6月12日(木)
		日本郵政グループ労働組合 JPU新東京支部 編集委員会	
		03-5690-2847	内線 4163

## —— 新賃金配分交渉を整理 ——

新規採用及び若年層に焦点あて改善  
2,000円から200円まで(最高109号俸まで)  
新賃金移行は8月の月例給与から

本部は、2008 春季生活闘争において、2001 年(210 円)以来、7 年ぶりに一人平均 600 円のベースアップを獲得して以降、その配分についてグループ各社と精力的に交渉を重ねてきました。

本日、JP 労組の要求である「人材確保の観点から初任給を中心とした若年層の賃金改善」および「民・分化の労苦に応えるために、広範な組合員への配分」に基づき、初任給および若年層の基本給を 2,000 円引き上げたのち、各職群各級とも 109 号俸まで傾斜的に 200 円までの引き上げを行うことで合意しましたので周知します。

月給制契約社員については、基本月額を一律 400 円引き上げたことに加え、「基本賃金の特例措置」を受けている社員(注)についても平成 20 年 7 月 31 日までに登用された者は、当該月額に 400 円増額することで整理を図りました。

(注) 基本月額および調整額の合計額が時給制としての基本賃金(時給)を月給化した額を下回るため、その差額を基本月額に加算した額を基本月額として取り扱われている社員。

郵便事業会社の短時間社員については、基本給を正社員の一般職群基本給表 1 級に準じ、改定を行うことで整理を図りました。

また、基本給改善に伴い関連する退職手当の計算の基礎となる「基本給月額読替表」や「枠外基本給月額読替表」および「昇降格調整金額表」についても、それぞれ応分の改善を行うことで整理を図りました。

適用日は、4 月 1 日とします。また、新賃金への移行は、給与システムが異なる宿泊施設およびサポートセンターに勤務する社員については 7 月の月例給与から、それ以外の社員については 8 月の月例給与からとなります。

なお、差額精算は、宿泊施設およびサポートセンター社員は7月24日(木)、それ以外の社員は7月31日(木)以降準備でき次第となります。

共済組合職員についても同様の内容で整理を図りました。

## <各種表の改定>

### 1. 基本給表の改定

正社員の標準モデル年齢で概ね30歳までの若年層を意識し、1級は65号俸まで、2級は33号俸までを2,000円引き上げました。さらに1級については、66号俸から82号俸までを1,900円から300円までの引き上げ、83号俸から109号俸までは200円の引き上げとしました。2級については、34号俸から50号俸までを1,900円から300円までの引き上げ、51号俸から109号俸までは200円の引き上げとしました。また3・4級については、109号俸までを一律200円の引き上げとしました。

また、その他の職群についても一般職群との均衡を図り、それぞれ改定したところです(基本給の最高号俸が109号俸未満の級については、最高号俸まで増額)。

### 2. 退職手当の計算の基礎となる基本給月額読替表の改定

現在、退職手当を算定する際に用いている「退職手当の計算の基礎となる基本給月額読替表」についても、今回の基本給表の改定に基づき同様の引き上げを行います。

### 3. 退職手当の計算の基礎となる枠外基本給月額読替表の改定

また、基本給表の最高号俸を超える基本給月額(以下「枠外基本給月額」となっている場合については、「退職手当の計算の基礎となる枠外基本給月額読替表」を用いて退職手当の計算を行っていますが、今回の配分交渉の結果、企画職群5級、医療職群(二)1級、同(四)4級については、最高号俸まで配分が行われたことから、当該基本給を同額引き上げます。

### 4. 昇降格調整金額表(枠外基本給対象者のみ)の改定

枠外基本給となっている場合は、上位級への昇格インセンティブ(基本給の引き上げ)要素が減少することから、インセンティブを担保するために「昇(降)格調整金額表」を用いて加算しているところですが、今回の配分に基づき一般職群2級、企画職群2級、医療職群(一)2級、同(二)3級、同(三)2級、同(四)2・4級および技能職群2・3級について、各200円を引き上げます。

日 刊	<b>新東京</b>	NO.4551	2008年6月18日(水)
		日本郵政グループ労働組合 JPU 新東京支部編集委員会	
		☎03-5690-2847 内線4163	

## JP労組

# 第1回 全国大会始まる

### 議案書の特徴

JP労組にとって初めての定期全国大会が本日から三日間にわたり北海道・札幌市において開催されます。第一回となる定期全国大会の議案書の特徴は二つあります。一つは、昨年の結成大会で確認した方針をより豊富化させるため、当面の運動展開にあたり、「中期的運動指針(以下中期指針)」を提案しています。この中期指針では、民営・分社化の移行期にあたる概ね10年をタームに、組合員の幸せの実現をめざした運動展開を行うと策定しています。もう一つは人事が伴う全国大会を「基調大会」、その他を「中間大会」と位置づけて開催し、基調大会では2年間の運動方針を提起しますが、今回の定期全国大会は、単年度(2008年度)の運動方針を提案しています。

### 全国大会の任務

全国大会の任務として三つあげられます。一つ目は、JP労組の礎となる「中期指針の確立」です。柔軟性を持った発想で「創造」のキーワードのもと、フレッシュな感覚と豊かな感性で、JP労組の基礎作りを、組合員の皆さんの共同作業として認識し挑戦したいと考えます。二つ目は、職場の実態をふまえた職場改善の取り組みとして、労働組合自らが労働力政策、人事・給与制度の確立を目指すことを確認します。三つ目はグループ各社の主要課題への対応。各社の中期経営計画を早期に引き出し、職場環境の整備等を基本スタンスに、積極的に経営側へ提言していくことです。

(裏面へ続く)

## 支部再編

JP労組が名実ともに組織と運動を構築し実践するためには、支部組織の確立が不可欠となります。実質的な支部再編については、全国大会後に控えている第一回定期地方大会(7月8日～9日)において方針が決定されます。我々東京地方本部の支部再編(統合)も8月末をめどに準備が進められています。

## 組合員30万人へ

JP労組は、すべての郵政関係労働者の結集軸を担い、民営郵政にふさわしい、より高次の労使関係を構築し、圧倒的な影響力と存在感を示すためにも、すべての運動を30万人組織の達成に向け、みなさまの努力をお願いするところです。

新東京支部においては、3月を組織拡大集中月間として23名の新規加入者を獲得。4月の東京地方本部の「組織拡大集中オルグ期間」での取り組みでは、27名の新規加入者を獲得し、東京全体で第一位の実績をあげることができました。組拡活動は止むことなく、さらに5月、6月と続々新しい仲間が増えています。(6月1日現在で組織人員は805名。うちパートナー組合員は231名)

JP労組を結成した意義と目的を考えるならば、組合員30万人の組織建設は不可欠です。組合員一人ひとりが、安心して働き続けることができ、生き甲斐・働きがいの持てる職場作りのために、組織拡大行動へのみなさまの協力をお願いいたします。

## 夏期一時金 支給日 6月30日準備出来次第

### 一般社員

[(基本給+扶養手当+調整手当+職務段階別等加算)×支給月数]+加算措置

### 高齢再雇用社員

[(基本給+扶養手当+調整手当+職務段階別等加算)×支給月数]+加算措置

期間雇用社員 月給制契約社員 (基本賃金額×0.3×1.5)+9,000円

時給制 // 基本賃金の合計額÷6×0.3×基準日前6ヶ月の実際

勤務日数に応じた割合 \*詳しくは支部役員、分会役員まで



日 刊

# 新東京

NO. 4552

2008年  
6月19日(木)

日本郵政グループ  
労働組合  
JPU新東京支部  
編集委員会

03-5690-2847  
内線 4163

## JPU労組

# 第一回全国大会速報①

## フロンティア精神で真に組合員の幸せ実現へ 組織純増で札幌大会開幕

絶好の全国大会日和となつた快晴の札幌。気温は25℃ですが湿度が少ないせいからラツとしていてさわやかな青空が気持ちいい。

全国大会の会場である、札幌市総合体育センター「きた

えーる」はだだっ広い巨大な体育館で平面の会場にパイプイスや机を代議員・傍聴者1400人分を並べてある。初日の午前中は、山口委員

長挨拶と高木連合会長・西川社長・浦野全国郵便局長会

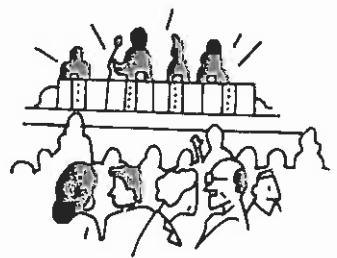
長・民主党からは菅代表代行・国民新党からは綿貫代表と亀井幹事長などの来賓挨拶で午前中の部は終了、お昼休み。

山口委員長からは、6月16日現在、22万4327名（結成大会時より約4千名増加）と報告がありました。

午後の部は、本部議案の提起と大会議案討論はじまりました。

前日の東京の代議員総会では、東京地本も1046名と拡大目標を達成したと報告がありました。

新東京支部も全国の仲間と共に奮闘した甲斐がありまし



た。

また、東京の発言内容と言者は①JPU北部・矢郷支部長 ②本社・富沢支部長 ③地本・柴書記次長が確認されました。発言はひとり10分ですが、東京の現実を発言してくれることを期待します。(大会の発言と答弁は後日日刊紙にて報告します)

…山口委員長のあいさつ…

全国の仲間の皆さん、民営分社化以降非常に厳しい事業環境の中業務に精励されJPL労組結成以降新しい運動と組織構築に全力でお取り組みいただいていることに感謝申し上げます。

本第一回全国大会の任務は、組織統合した新労組の運動を

いかに構築し

ていくか、民営化以降の職場実態改善の取り組み、30万組織達成

に向けての組織建設推進体制を確立するとともに、組織が一丸となって推進していくことを確認する大会となります。

JPL労組はゼロからの出発と言っても過言ではありません。

ここ、北海道の地は明治時代から成功を夢見て開拓に臨んだ地でございます。

厳冬の冬や寒さの冬に雪や寒さに行く手を阻まれるなど自然の猛威に苦しみながら希望だけを胸にそれこそ命がけの苦勞をされてきたのだろう



と思います。

私達も、郵政事業の歴史の中で幾多の困難を乗り越え事業の発展と組合員の幸せを求めて様々な闘争を展開してきました。

日本郵政グループは市場競争の中で今まで以上の困難を乗り越えなければならぬこともあろうと思います。

JPL労組はいかなる困難に遭遇しようと成功を夢見て勇んで乗り込んできた開拓者のごとくフロンティア精神をもって組合員の幸せの実現のため一致団結して行動することを皆さんに申し上げ、中央執行委員を代表してのご挨拶とさせていただきます。よろしくお願います。

【報告者A】

# JP労組運動の創造と具体的展開に向けて

## JP労組の結成とその役割

JP労組運動の創造と具体的展開に向けて



- 組合員の幸せの実現をめざして
- 新たな国際労働運動の発展に向けて
- 国際関係労働運動の結成に向けて

## 「三つの視点」に立脚した運動展開

### <改革者の視点>

- 格差社会の是正と公正な社会形成
- 生活者重視の政治改革と政治勢力の結集
- いきいきとした地域社会の創造
- 人権尊重と男女共生社会の実現
- 環境保全とエコライフの実践
- 国の基本政策への対応
- 豊かで平和な社会

### <事業人の視点>

- 民営・分社化に対する自らの意識改革
- 現場力を生かした経営の確立
- 政策機能の強化と政策提言
- 生産性運動の積極展開
- 組合員教育と人材育成

### <労働組合の視点>

- 組合員とともに歩む労働運動
- 民営郵政にふさわしい労働条件の確立
- 新たな労働関係の確立
- 組織建設と組織のあり方
- 連合運動への積極的な参加
- 国際労働運動との連携
- ライフサポートの充実

## 民営郵政の問題と社会的役割

⇒社会的企業としての成長・発展への取り組み

## 具体的な運動展開

	民営郵政の展望	JP労組の運動展開
<b>創 生 期</b> 2007年10月から 3年程度	<ul style="list-style-type: none"> <li>○民営分社化5社のスタート</li> <li>○企業基盤の確立</li> <li>○新規業務の認可</li> <li>○株式上場に向けた諸準備</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○支部再編と組織の融和・融合の促進</li> <li>○JP労組運動の構築と浸透</li> <li>○30万人組織をめざした組織建設</li> <li>○新たな労働関係の構築</li> <li>○組合員教育の整備と実践</li> <li>○「3年ごと」の見直しJへの対応</li> </ul>
<b>変 革 期</b> 2010年4月から 5年程度	<ul style="list-style-type: none"> <li>○株式上場</li> <li>○市場の評価</li> <li>○株主を考慮した経営</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○経営に対応したJP労組の自己変革</li> <li>○組織建設目標の達成</li> <li>○子会社の組織化と組織のあり方</li> <li>○参議院選挙への組織内候補擁立</li> <li>○UNI世界大会(長崎)受入対応</li> </ul>
<b>成 長 期</b> 2015年4月から 5年程度	<ul style="list-style-type: none"> <li>○金融2社の株式完全売却</li> <li>○広範な提携とグループづくり</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○株式持合関係の制度づくり</li> <li>○グループ一体系の確保</li> </ul>

- 組合員サービスの充実
- 新たな労働関係の構築
- 政策機能の確立と提言
- 民主的な政治勢力の形成
- 充実したワーク・ライフ・バランスの実現
- 地域社会との交流・貢献
- 地球環境保全と世界平和

# 食堂・喫茶の価格 UP

## 1 概要

昨年以降の急激な原油高及び小麦粉・コーン・大豆等食材の値上がりにより、食堂メニュー価格の改定と喫茶における土曜日、日曜日の営業について、次のとおりお知らせします。

## 2 価格等

- (1) 食堂現行表示価格から 20 円～60 円の値上げ(詳細については、別紙新旧価格表を参照してください。)
- (2) 喫茶の営業については土曜日、日曜日の売り上げで、人件費を賄うことができないため、土曜日、日曜日を休業とします。

## 3 実施日

平成20年7月1日(火)朝食から。

## 4 その他

- (1) 連休期間(盆休暇・年末年始休暇等)の喫茶営業については、その都度お知らせします。
- (2) プリペイドカード利用者は引き続き、新(改定価格)から5%を割り引きします。

新旧価格表

(円)

メニュー	旧(現行) 価格	新(改定) 価格
納豆定食	200	220
日替わり定食	300	330
Aセット(小鉢・味噌汁付)	500	550
Bセット(小鉢・味噌汁付)	500	550
Cセット(小鉢・味噌汁付)	500	550
丼	440～	500～
カレー	400	400
和麺	330～	350～
和麺セット(ミニ丼付)	480～	500～
ラーメン	350～	400～
ラーメンセット(ミニ丼付)	500～	550～



※ 喫茶については、土曜・日曜の営業を中止させていただきますことをご了承ください。

# 東京中央郵便局仮局 の設置に伴う 日本橋通郵便局の 一時閉鎖について

現在の東京中央郵便局は7月22日(火)に東京中央郵便局仮局として東京駅の八重洲不二ビル1Fに移転予定となっており、八重洲・日本橋エリアの窓口体制が強化される。

また、耐震上問題がある日本橋通局(元・無普局)をひとまず一時閉鎖として、2011年度の東京中央局完成までに、ビルの建て替え、このエリアの店舗再配置とあわせて、日本橋通局の再開等を検討することとする。

発生予想過員	10名
配置転換実施日	調整中
一時閉鎖年月日	2008年7月19日(土)
具体的配置転換方法	別途

## 第1回定期地方大会の開催にともなう 地本業務の休止について

第1回定期地方大会の開催にともない、大会期間中は地本事務所が不在となるため、7月7日から7月10日のあいだは、地本業務を休止します。福利厚生関連ホームページとFAXの申し込みは通常通りです。

また、8月分の豊島園利用券締め切りは、現行7月10日が7月14日に変更となります。

日 刊	新東京	NO. 4556	2008年6月25日(水)
		日本郵政グループ労働組合 JPU新東京支部 編集委員会	
		03-5690-2847	内線 4163

## 真に組合員の幸せの実現を最優先に

### 定期全国大会で確認してきたこと…

6月18日～20日、札幌市で開催されたJP労組結成後初めてとなる第1回定期全国大会に参加した島村支部書記長に大会の印象やポイントなどについて聞きました。

#### 青く澄み渡る青空の下で開幕しました。

大会初日の天気は、快晴。会場の北海道立総合体育センター「きたえる」には、北海道出身のオリンピック選手の写真パネルが飾られていました。代議員・傍聴者・来賓者等、1800人分の机とイスを並べても余裕の広い体育館で、壇上に設置されたモニターには、発言者の表情がきれいに映し出されていました。参加者全員に机があったのは、とても良かったです。また、傍聴者も代議員と一緒に並ぶことによって大会参加者としての一体感も感じられたと思います。

#### これからの運動づくり・組織づくりは

大会冒頭の山口中央執行委員長挨拶は、約30分間。「岩手・宮城内陸地震」被災者へのお見舞いと、自らが被災しながらも郵政事業人として責任ある行動をとる組合員を誇りに思うとともに心から敬意を表したいと冒頭述べながら、昨年10月の組織統合・新組織結成以降、業務に精励し、さらにJP労組運動に取り組む全国の組合員への感謝と御礼からはじまりました。委員長挨拶は、①今大会の任務、②日本郵政グループの決算状況と今日的課題、③現場力の発揮に向けて、④企業経営と企業価値について、⑤政治・経済の状況、⑥2008春季生活闘争の総括と課題、⑦今後のJP労組の歩む道、等が語られていました。

私としては、委員長挨拶の中で特に印象に残ったのは、組織統合を果たした両組織は、それぞれが歴史と経験を持ちつつも、新組織として結成したばかりであり、「ゼロ」からの出発であり、スタート地点に立っていることに誇りを持って、結成の理念である「真に組合員の幸せ実現」のために結成したことを再確認しようと呼びかけた部分でした。

・・・裏面に続きます。

・・・表面より続きます

**存在感ある力強い労働組合をつくろう**

結成の精神を忘れず、強いJ P労組、組合員に信頼される組織を目指し「心合わせから力合わせ」への委員長呼びかけは、シンプルな当たり前のことなのですが、8月末を目途に準備中の私たち支部段階の再編・統合の取り組みの際にも肝に銘じたいと考えたところです。

**大会発言者に共通するものは・・・**

大会討論は、2日間かけて行われ、途中の本部中間答弁を挟んで13地本から24名が発言しました。議事運営委員会によって各地本の組織人数に応じて発言枠は割り当てられ、東京は3名が発言することが出来ました。また、全体討論のみで行われたため、各会社の問題点も単一組織として組織全体で共有化できたと思います。発言には、旧組織の違いが出るのかと思ったのですが、全く感じられませんでした。当然ながら共通して感じられたのは、語り口は違っても、今の職場や新しい組織をより良くしていきたいという強い姿勢でした。東京の代議員はもちろんのこと、地方の代議員も具体的な民営・分社化後の職場実態について多く発言していました。

**9割を超える高批准で運動方針を決定**

大会に提案された議案の構成は、2008年度の運動方針に加え「運動の基本理念」や「目指す労働運動の姿」を中心に構成された概ね向こう10年間をタームとした「中期的な運動指針（中期指針）」が示されています。詳しくは、議案書や近日中には自宅に届く『J P新聞・全国大会特集号』を是非よく読んでいただきたいと思います。

最終日の各種一票投票では、9割を超える代議員が賛成票を投じて運動方針が確立しました。「改革者」「事業者」「労働組合」の3つの視点からなる「中期指針」に立脚し、2008年度は「創生期」の取り組みを展開していくこととなります。郵政民営化委員会による「3年ごとの見直し」課題への対応。3年後の株式上場。会社に対してJ P労組が主体性をもって関与していくとした労働力政策（行き過ぎた非正規化と採用抑制を改めさせることや実施してきた現行各種施策の見直しを求めていくこと）。新たな人事・給与制度の実現。日通との宅配事業統合への対応。……………いずれも取り巻く状況を見極めながら、慎重、かつ、柔軟な対応が求められるものばかりです。「真に組合員の幸せ実現」を目指して将来展望を切り開くためには、存在感ある力強い労働組合づくりに全力を挙げるからこそがポイントとなります。そのことは、J P労組結成の目的であり、今大会の任務であることを痛感した次第です。

**JP新聞の全国大会特集号は、7月7日発行です。**

# 要員不足も事故の一因では！

怪我をすることは輸送の職場の付き物だろうか。

一輸送の職場は移載機やテールリフト、コンテナとひとつ間違えば大怪我をする機械や容器がいくつも配置されている。これまでも、これらの機械で骨折などの傷害事故が何度も起きていた。毎日、始業時に行われるミーティングでも「事故のないように」と繰り返し言われるが、事故は毎年のように発生している。事故は本人の注意だけでなくなるものだろうか。好きで痛い目にあう人はいない。



一輸送の職場は昼間は広く見える到着のフロアも夜間帯では到着したパレットであふれかえっている。その中で狭くなった通路を周りのパレットを避けながらぬうようにして運んでい

る。そこで機械がトラブルでも起こせば混雑はさらにひどくなる。このような状態だからいつパレットに衝突しても不思議ではない。その上、到着したパレットはより速く各課に交付しなければならぬ。

毎年、多くの退職者が出るものの、その人達の後補充はほとんどなされないままにきている。ゆうメイトの採用も行われているが、入れ替わりも激しく、夜間帯は慢性的な人出不足に陥っている。事故の原因はいろいろあるが、この要員不足からくる余裕のなさが事故の一因にもなっているだろう。

また、注意を喚起することも大事だが、現在の機械やパレットなどに安全対策上改良すべきところがないのか検討することも必要ではないだろうか。



# 猫の読書

20冊目

## 「拉致」異論

日朝関係をどう考えるか 太田 昌国

河出文庫 798円(消費税込)

最近、戦争の寄稿ばかりしている【猫舌】です。一応その間にも何冊か、これはいいな！ という本があったのですが、寄稿と個人的事情により紹介していませんでした。聞くところによると、もうすぐ組合支部が統合し、新体制になるという話なので、その前に、拾い物の本を紹介しようと思います。

『「拉致」異論』は、題からお察しのように、北朝鮮(朝鮮民主主義人民共和国)による「拉致問題」が明るみになった以降に、日朝関係をどう考えていくのかを、日本と朝鮮半島の近代以降の歴史を交えながら論じた本です。題に「異論」とありますが、「拉致問題」自体を異論としているのではなく、拉致発覚前に北朝鮮を無条件で楽園視した進歩派の態度、「家族会」「救う会」幹部の北朝鮮への過剰なバッシング、またそれを利用して軍拡を目論む言説などへの批評に作者の自己経験を加味しながら、日本と朝鮮半島(北朝鮮)との関係を真の和解・友好に持っていくにはどうするか、を時評の形で論じています。太田氏は本来、第三世界論や民族問題、植民地主義に関する社会批評を論じられているようで、日朝関係は専門外、と称していますが、日本と朝鮮半島、在日朝鮮人の歴史関係など、俗にいう「評論家」達より詳しく、引用した論文も多岐にわたっていたので、戦後日朝関係のいい勉強になりました。

筆者は、拉致問題以降のマスコミの北朝鮮に対する報道に疑問を持っているので、偶然書店で見つけたこの本を読んだのですが、そんな単純な疑問を超えて、民族間の歴史問題は感情やエゴではなく、冷静な目と正確な知識に基づいて議論・判断しないとならないのだな、と深い感銘を受けました。



YES, PEACE!

平和の声 力合わせて高々と

# 連合平和運動強化月間6月～9月

連合平和月間が6月、沖縄行動からスタート、8月に広島・長崎そして、9月は根室集会で締めくくります。連合・構成組織の取り組みに合わせ、東部地協・地区協も代表を現地集會に送る予定である。職場・地域から平和の声を力を合わせて高々と響かせよう。

## 第五福竜丸展示館 特別展

### 男鹿和雄展「ウミガメと少年 第五福竜丸と海へ」

「となりのトトロ」「もののけ姫」「平成狸合戦ぽんぽこ」などのスタジオジブリ作品の美術監督、画家の男鹿和雄さんが吉永小百合さんの原爆詩朗読CDと沖縄編の「ウミガメと少年」のために描いた作品の展覧会です。

6月23日の開会記念会には、夢の島・第五福竜丸展示館で吉永小百合さんが「これからもずっとこの作品を朗読していきたい。ここで子供達にも学んでほしい。」と呼びかけました。

「ウミガメと少年」は野坂昭如作の戦争童話集の秀作ですが、このたび男鹿さんの絵により徳間書店から出版されました。

ヒロシマ・ナガサキ・オキナワ作品39点による作品展(ピエゾグラフ)にぜひお越し下さい。男鹿ワールドは優しさと懐かしさにあふれています。



\*会期：6月24日～8月17日 9：30～16：00

第五福竜丸展示館・入館無料

会期中子どもワークショップのイベントあり

(要問合せ・電話 03-3521-8494)